

学習内容報告書 フォーマット

学校名	大田市立久手小学校
授業者	小倉希一郎 寺本優子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

久手の海と「ONE TEAM」になろう！

1-2. 学年

3年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

まず、はじめにこれまでの久手の海との関わりについて振り返り、実際に久手海岸や漁港に行き、観察や貝殻拾いなどのフィールドワークを行う。拾った貝殻は観察をしたり、造形作品に使用したりする。

次に、久手の海でとれる魚についてしまね海洋館アクアスで、海の生き物の特徴や大きさを実際の目で確認する。

最後に、それぞれがこの学習で感じたことや調べてきたことを絵本にまとめる。絵本は、学級内で互いに発表し合い、学びを共有する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、校区内に海を有する。児童は生まれた時から海を身近に感じ、生活している。そこで、海に関する学習を通して、ふるさとに対する愛着や誇りをもち、これからも久手の海を大切にしていこうという気持ちを育みたいと思い、本単元を設定している。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・情報の収集の仕方について理解し、必要な情報を収集することができる。
- ・自分の考えや思いを様々な表現方法でまとめたり伝えたりすることができる。
- ・久手の海よさを理解しようとするとともに、課題解決に向けて取り組むことができる。

1-7. 単元の展開（全25時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
8	<p>○久手の海とのこれまでの関わりを振り返る</p> <p>○久手の海フィールドワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久手海岸，漁港の様子を観察する。 ・砂浜にある貝殻を拾う。 <p>○貝殻アート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拾った貝殻を観察する。 ・拾った貝殻で写真立てを作る。 ・拾った貝殻でキーホルダーを作る。 	<p>○久手海岸や漁港での過ごし方について安全指導を行う。</p> <p>◎久手の海に対する関心を高めている。 (行動観察，ワークシート)</p>
1 0	<p>○海の生き物に関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットで魚について調べる。 ・しまね海洋館アクアスに出かけ，海の生き物について知る。 ・海洋館アクアスで見たもの，分かったことについてまとめる。 	<p>○しまね海洋館アクアスでの過ごし方のマナーやきまりについて確認する。</p> <p>○海の生き物の特徴や大きさを目で確かめるよう伝える。</p> <p>◎海の生き物に対する関心を高めている。 (行動観察，ワークシート)</p> <p>◎海の生き物についての知識を深めている。 (行動観察、ワークシート)</p> <p>外部連携：しまね海洋館アクアス</p>
7	<p>○久手の海絵本を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでにまとめたものを活用して絵本を作る。 ・まとめたものを発表する。 	<p>○絵本にまとめる際のポイントを伝える。</p> <p>◎久手の海や海の生き物について調べたことを，工夫しながら絵本にまとめることができている。 (絵本)</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

・久手海岸、漁港の様子を観察し、久手の海への関心を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;">久手海岸のひみつを発見しよう</div> <p>○久手海岸へ行く。</p> <p>○漁港の見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな船だな。 ・あの機会はなんだろう。 ・どんな魚が水揚げされているんだろう。 <p>○気づいたことや疑問に思ったことを現地の漁師さんや地域の人にインタビューする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな魚がとれましたか？ ・何人くらいで漁に行くんですか？ <p>○久手の海水浴場を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなものがあるかな。 ・工作に使えるものがあるな。持って帰ろう。 <p>○工作に使えるものを拾って帰る。</p> <p>○海岸見学を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁師さんが働いていた。 ・トビウオがおいしそうだった。 ・大きな氷を作る機会があった。 ・漁は何人も人が協力してすることが驚いた。 ・砂浜にはいろいろな物があった。 	<p>・安全面に留意し、道路の歩き方や、持ち物の確認などの指導を行う。</p> <p>◎見つけたり、気づいたりしたことをメモしている。（行動観察、ワークシート）</p> <p>◎話を聞きながら、疑問に感じたことを積極的に質問をしている。（行動観察）</p> <p>・事前に現地の漁師さんにインタビューすることをお願いしておく。</p> <p>・安全面に留意し、軍手を着用して海岸の物を拾うように指導する。</p> <p>◎気づいたことを書いている。（ワークシート）</p> <p>・振り返り場面では、「おどろいたこと。」「楽しかったこと。」など観点を示し、児童がねらいに沿って振り返ることができるようにする。</p>

3. 今回の活動の自己評価

漁師の方から久手の海にいる魚や漁の仕方について、現地で直接話を聞くことができたということは、貴重な経験になった。子どもたちは本時で習得した海岸に落ちていた貝殻や流木、廃棄物を使ってネックレスや置物などの作品を製作した。

身近な久手の海について、漁師さんの話を聞く中で疑問がわき、「もっと調べたい。」と関心が高まった様子の児童もいた。また、海岸で様々な漂流物を見つけ、どこからきたのか、他の海岸はどうなっているのか疑問をもった児童もいた。また、ふりかえりでは、おどろいたことが多く出てきた。児童は久手の海について知っているようで、実は知らないこと、分からないことがたくさんあることを実感できた様子だった。

今回の活動をきっかけにして、更に島根の海に生息する魚の種類を調べたり、夏休み中に海の材料を使った工作をしたりと、子どもたちはより主体的に海について関心を高め、活動を行った。

これらのことから、単元の導入段階でこのようなフィールドワーク型の体験を取り入れることは、子どもたちの主体性を高め、より探求的な学習単元を構成するために大変有効だったと考える。

4. 今後の課題

現地で直接インタビューをすることで、ライブ感もあったが、物の説明や詳しい内容については具体物がなく、理解が難しい児童もいた。漁師さんを学校に招き、資料などをもとに詳しく説明していただく時間があっても良いのかもしれない。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。